お祖師さまをお訪ねする物語 第4回

高祖日蓮大士ご降誕
800年慶讃

南都（奈良県）のお寺を巡って遊学（よその土地に行って勉強すること）されたお祖師さまは、いよいよ紀州（和歌山県）の高野山を目指すんだよ。高野山に向かわれたのは宝治二年（一二四八）、二十七歳の時なんだ。今回は、高野山と大阪の四天王寺、そして大阪府南河内郡の叡福寺への遊学のお話をするね。

高野山へ

和歌山県にある高野山（金剛峯寺）は、弘仁七年（八一六）、空海（弘法大師）が嵯峨天皇の許しをいただいて真言宗の教えを修行する道場として建てたものなんだよ。

千メートルの山々に囲まれた高野山は、東西約六キロ、南北約三キロの盆地（周りを山に囲まれた平らな土地）で、ちょうど「蓮の花」のような形をしているんだ。

平成十六年（二〇〇四）七月、「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界文化遺産に登録され、今では観光地として世界中の人々が訪れているね。

お祖師さまは、当時、真言宗の中心地となっていたこの高野山を、宝治二年（一二四八）遊学の地に選ばれたんだ。

お祖師さまは、高野山の一心院谷という所にある「五坊寂静院」という坊（小さいお寺・僧の住居）で勉強されたんだよ。ここでは、空海が、中国から学んできた「真言宗」の教えを、約一年かけて勉強されたんだね。

一年という期間は、決して十分な時間ではなかったんだけど、お祖師さまは、寝食（寝ることと食べること）も忘れて沢山の書物に目を通されたんだよ。

高野山の五坊寂静院山門前に御題目の碑が建っている

聖徳太子のお墓の前にこもって修行した七日目の夜、お祖師さまの前に聖徳太子が顕われニコニコ微笑まれた

大阪地方にもご遊学

お祖師さまは、高野山での勉強を終えられた後、大阪の「四天王寺」に向かわれたんだ。この四天王寺というお寺は、聖徳太子が建てたお寺で日本最古のお寺なんだよ。

また、このお寺は「八宗兼学（仏様のいろんな教えを勉強することができる）」の道場として有名で、お祖師さまもここで、いろんな仏教の書物や聖徳太子の書かれた本を読まれたんだね。

次に、お祖師さまは、大阪府南河内郡太子町にある「叡福寺」に行くんだ。この叡福寺は、聖徳太子のお墓があるお寺なんだよ。聖徳太子は、日本に最初に仏教を弘めた人でもあるから、多くの僧侶（最澄、空海、法然、親鸞など）たちが、ここにお参りしたんだね。

お祖師さまも、聖徳太子のお墓にお参りし、七日間お堂にこもって修行されたんだよ。すると七日目の夜、聖徳太子が姿を顕わし、お祖師さまに、優しく微笑まれたと伝えられているんだ。

お祖師さまの熱心な修行の姿に、きっと聖徳太子も感心されて、笑顔で応援して下さったんだね。

平成16年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界文化遺産に登録された高野山

叡福寺の境内にある聖徳太子の御廟（お墓）